（お知らせ）

「第13回 FIDO 東京セミナー」に協賛・登壇
～デジタルアイデンティティ領域における当社の取り組みを紹介、開発中技術を展示～

フェリカネットワークス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：赤井田 徹郎、以下「フェリカネットワークス」）は、2026 年 12 月 4 日（金）に FIDO アライアンスが開催する「第13回 FIDO 東京セミナー」に協賛するとともに、セッションへ登壇し、展示ブースに出展します。

協賛の背景

FIDO アライアンスは、パスワードに依存しない認証技術の仕様策定や認定プログラムの整備を通じて、その普及と利用を推進しています。近年では、認証に加えてデジタルクレデンシャルにも活動領域を広げており、本セミナーでは「～Passkeys Today and Beyond ～ パスキーのいま、そしてパスキーを超えた未来～」をテーマに、パスキーの普及動向やデジタルクレデンシャルを含む新たな領域の取り組みが紹介される予定です。

フェリカネットワークスは、モバイル FeliCa をはじめ、スマートフォンを活用したさまざまなサービスを支える技術・プラットフォームを提供してきました。現在はその取り組みをデジタルアイデンティティ領域にも広げ、国際的な標準技術を活用し、安全性と信頼性、相互運用性を備えたデジタルアイデンティティ基盤の実現に取り組んでいます。

Diginin™ 学生証プラットフォームにおける取り組みとクロスデバイス対応への拡大

2026 年 7 月に提供を開始した「Diginin™ 学生証プラットフォーム」は、国際標準規格「mdoc」[※1]および国立情報学研究所（NII）が定める国内共通のプロファイルを採用したデジタル学生証のプラットフォームです。パートナー企業のデジタル学生証アプリに組み込む形で提供し、大学間の相互運用性の向上と、大学内外の各種サービスとの連携省力化に貢献することを目指しています。

本サービスでは、学生のスマートフォンに格納された学生証情報を、対面だけでなくオンラインでも提示・検証できます。また、利用者本人の同意に基づき、必要な情報を選択して提示することが可能です。

フェリカネットワークスは、Diginin™ 学生証プラットフォームの利用シーンをさらに拡大するため、スマートフォン、タブレット、パソコンなど複数の異なるデジタル機器を横断したクロスデバイスでのデジタル学生証の提示・検証への対応に向けて、現在開発を進めています。この実現のため、ワールド・ワイド・ウェブ・コンソーシアム（W3C）[※2]による Digital Credentials API （DC API）[※3]仕様と FIDO アライアンスによる Proximity Exchange Protocol （PXP）[※4]仕様を活用しています。本対応は、2027 年度上半期中の完了を目指しています。

これにより、例えばパソコンで利用しているオンラインサービスに対し、手元のスマートフォンに格納されたデジタル学生証から、必要な情報を安全かつ円滑に提示できるようになります。

このように、スマートフォンとパソコンなど、複数のデバイスをまたいでデジタル学生証を利用できる環境を整え、大学内外のさまざまなサービスでの利用拡大を目指します。

本セミナーでの当社の登壇と展示

本セミナーでは、フェリカネットワークスのデジタルアイデンティティ領域における取り組みと、Diginin™ 学生証プラットフォームが目指す今後の展開について紹介します。

また、展示ブースでは、現在開発中の W3C DC API と FIDO PXP を活用したクロスデバイスでのデジタル学生証の提示・検証について、技術デモンストレーション※5 を予定しています。

【セミナー開催概要】

- 日時： 2026 年 12 月 4 日(金)13:00～18:00(12:00 開場)
- 会場： 東京ポートシティ竹芝 ポートホール
- 主催： FIDO アライアンス
- テーマ：～Passkeys Today and Beyond ～ パスキーのいま、そしてパスキーを超えた未来～
- 参加費：無料(事前登録制) ※懇親会は有料

開催概要およびプログラムの詳細については、FIDO アライアンスの Web サイトをご確認ください。

フェリカネットワークスは、FIDO アライアンスをはじめとする国際的な標準化コミュニティとの連携を通じて、認証技術とデジタルクレデンシャルを活用した、安全で利便性の高いデジタルアイデンティティの社会実装に取り組んでまいります。

FIDO アライアンスについて

FIDO アライアンスは、パスワードに依存しない認証技術の標準化と普及を推進する国際的な業界団体です。近年は、デジタルクレデンシャルの安全性や相互運用性の向上に向けた取り組みも進めています。詳細は FIDO アライアンスの公式サイトを参照ください。

※1 mdoc：モバイル運転免許証を起点として整備されたデジタル文書の技術方式で、ISO/IEC 18013-5 に規定されています。関連規格と組み合わせることでオンラインでの提示にも対応し、利用者の同意に基づいて必要な情報のみを提示できます。

※2 ワールド・ワイド・ウェブ・コンソーシアム(W3C)：Web サイトやブラウザー上で使用される技術の標準化・相互運用性の確保を推進するために設立された国際的な標準化団体です。

※3 Digital Credentials API(DC API)：W3C が仕様策定を進めている、Web サイトがブラウザーを介してデジタルウォレットに格納されたデジタルクレデンシャルの提示を要求するための API です。

※4 Proximity Exchange Protocol(PXP)：FIDO アライアンスが仕様策定を進めている、クライアントと認証器との通信を定めるプロトコルである Client to Authenticator Protocol(CTAP)を起点として、デバイス間の近接性を確保するためのプロトコルです。

※5 本デモンストレーションは開発中の機能を用いた参考展示です。実際の提供時期および提供時の仕様は、展示内容から変更となる場合があります。

※ 「FeliCa」は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。
※ 「Diginin」は、フェリカネットワークス株式会社の商標です。(登録出願中)
※ 記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお客様からの問い合わせ先】
フェリカネットワークス株式会社 https://www.felicanetworks.co.jp/contact/form.html